

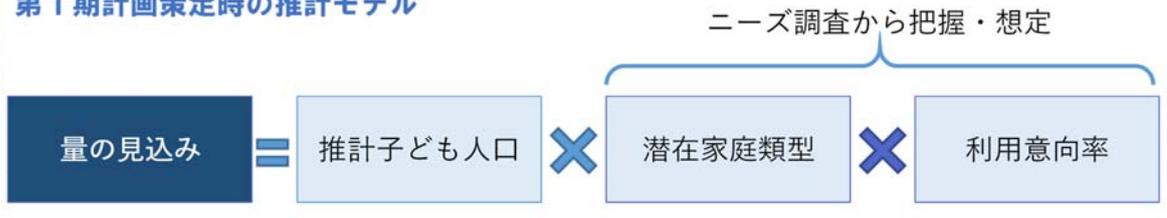
【甲賀市】子ども・子育てニーズ調査の考え方

1. 調査票設計の前提となる考え方

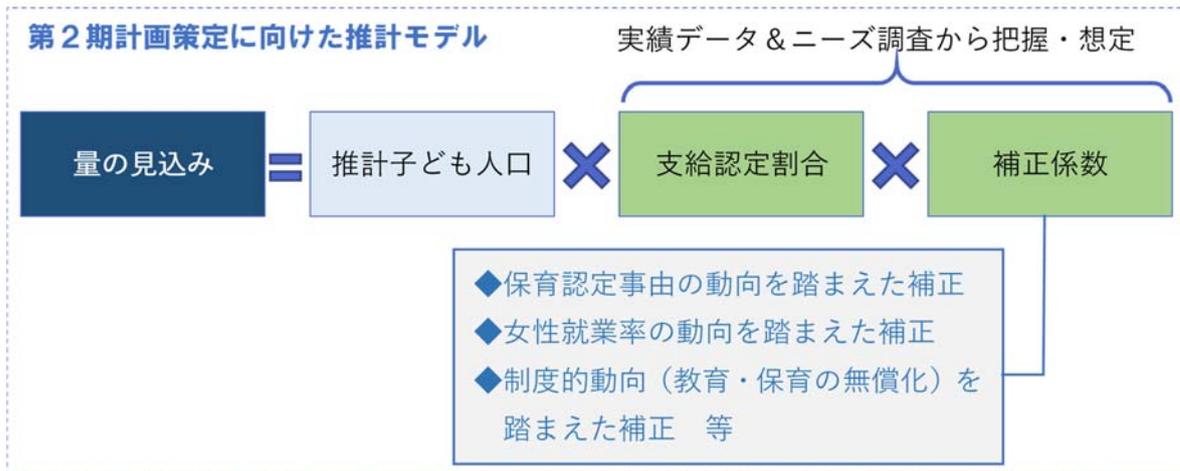
ニーズ量推計手法の転換

アンケート情報を中心にしたニーズ量推計手法（第1期策定時）から
実績データを中心にしたアンケート情報を活用するニーズ量推計手法へ

第1期計画策定時の推計モデル



第2期計画策定に向けた推計モデル



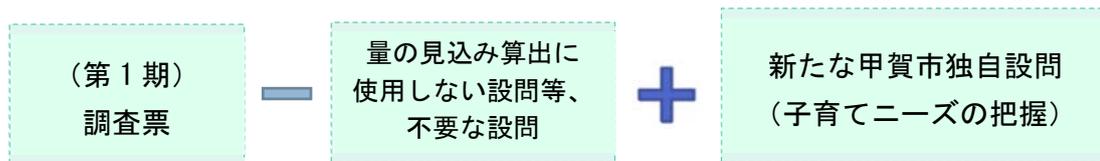
アンケートの主目的の転換

ニーズ量把握のためのアンケートから
多様な子育てニーズを把握するためのアンケートへ



2. 調査票の設問構成について

- 第2期におけるニーズ量推計等については、実績データに基づく推計を基本とすることを前提に、第1期策定時における煩雑かつ多量の設問について可能な合理化・簡略化を行う。
- 上記の合理化によって、第1期策定時の調査では膨大・煩雑になっていた調査設問を減らし、調査票のボリュームを圧縮することで、回答者の回答の負担を軽減する。(回収率の増加にもつながる)
- また、時代状況を踏まえた地域の子育てニーズを把握するための設問の追加を可能な(回答者の負担増にならない)範囲で行う。



3. 追加設問について

- 上記の考え方を踏まえ、設問の合理化・簡略化を行うとともに、次のような設問を追加。

【就学前児童用】

問番号	設問	備考
問 11	出産後の育児に関して困ることや辛いこと	市独自 (妊産婦支援関連設問)
問 12	不適切な子育て防止のために効果的なこと	市独自 (児童虐待関連設問)
問 16	仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じること	市独自 (ワーク・ライフ・バランス関連設問)
問 19	平日に定期的に教育・保育事業を利用したい理由	市独自 (教育・保育ニーズ把握関連設問)

【小学生用】

問番号	設問	備考
問 11	不適切な子育て防止のために効果的なこと	市独自 (児童虐待関連設問)
問 13	仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じること	市独自 (ワーク・ライフ・バランス関連設問)
問 14-3	病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	就学前の国モデル設問追加
問 20	子育てに関する不安・負担	市独自 (就学前の第1期策定時の調査項目)
問 22	子ども同士が交流等を行うことができる場について	市独自 (就学前の第1期策定時の調査項目)